

町を活性化する施策は

小池久長 議員



問：小池久長議員

競争力の高い農産物の奨励や援助、後継者育成への支援は。

答：矢嶋町長

適地品種の奨励、栽培技術の向上などを支援していく。また、青年農業者、認定農業者の育成、新規就農者への支援も進める。

問

農家でのISO1400

1取得や、宿泊設備などの設備拡充をはかりグリーンツーリズムなどの推進や、産・学・官連携による次世代への商品づくりは。

答：五味産業課長

現在富士見町ではそこまで進んでいない。

問

観光客や、企業誘致の支援策と、同友興産(株)に関する町の対応は

答：町長

観光客誘致に関しては地元の特徴を生かすべく努力している。企業誘致のための支援拡大は現在考えていない。同友興産の特別な情報はない。

問

市街地活性化プランは、現状に即しているのか。また、富士見駅周辺と信濃境駅との関連は。

答：町長

基本的には、現在の都市計画に即して進めて行く。地元の協力なくしては実を結ばない。

問

先進的な特徴のある教育プログラム導入の可能性は。

答：小松教育長



適地を求めて進出した花き栽培ハウス

学校評議委員会制度や豊かな自然体験活動を進めている。

問

水資源などの環境保全の現状は。

答：町長

現在著しい水質汚濁は発生していない。

問

町民に行政をより分りやすくし、職員の意識啓発や緊張感を生み、より高度な行政運営につなげる行政評価の導入意向は。

答：町長

今後、システム導入や、民間企業と同じ視点で行政運営を評価する手法の検討を考えていく。

えんてい
堰堤内の樹木除去を

名取末吉 議員



問：名取末吉議員

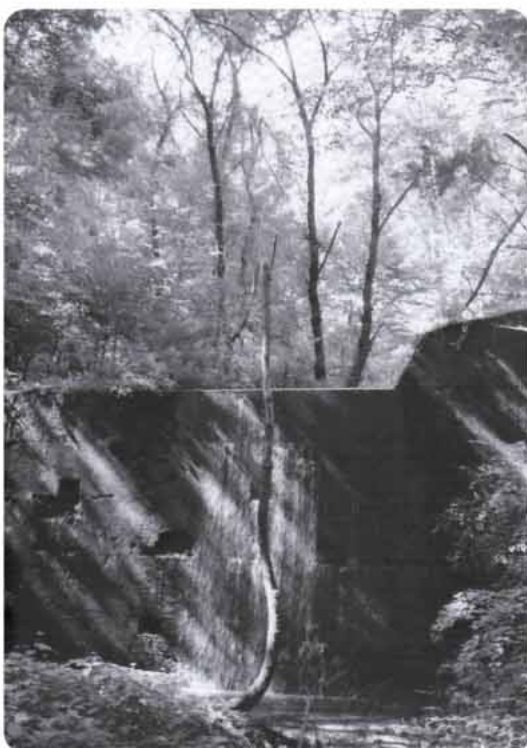
伊勢湾台風以後、各河川で堤防が整備されたが、堆積土砂に樹木が密生して災害を起こす危険がある。台風による河川災害の対策の計画は。西山・花場に危険箇所があるので、調査を。

答：矢嶋町長

災害に対しては、正確な情報の入手・冷静な判断・迅速な対処で行きたい。まず地域防災計画・総合計画に基づいて危険度・緊急性を考慮して、国・県・集落などと協議して実施する。危険箇所の予測ができないので、順次やっていく。

答：樋口建設課長

河川堰堤で砂防指定地・急傾斜地指定地について、国に要望していく。付随する私有地の樹木の間伐は、関係部署と指導を行い、実施している。



堰堤内に密生した樹木